

## 大学放浪記 (27)

伊藤信孝

マエジョ大学客員教授・再生可能エネルギー学部

本報では、筆者がタイの大学にきてから初めての体験となる大学レベルの委員会の委員を演出する選挙について記す。実際には初めてではなく、一度学部長選出の選挙に参加したことがある。しかし、その時の感覚では、教職員の意向投票のようなもので、選挙の結果を参考にする為と聞いていた。実際はどの様に最終的に結果が出されたかは知るよしもない。日本では特に政治における中央、地方の行政を左右する選挙権を外国人に認めるかどうかでたびたび、外国人の選挙権が話題になる。タイでは異なる国籍を有する外国人に選挙権を認めているかどうかは定かではないが、外国人がタイの土地を購入、所有することもできない事になっている。このような例から見てもタイの国籍を待たない外国人が選挙権を与えられていることは先ず無いと考える。大学のような組織で、しかも契約で雇用されている外国人が選挙権を持つことは考えられない。しかし、いろいろな条件によって制限はされて居るであろうが、今回の大学レベルの委員会の委員を選出する選挙には外国人である筆者も投票できるという事で投票の機会を得た。あくまでも一時的であろうと大学の教員と言うことで、しかもその雇用期間が原則1年という短期間であるから許容されるのかも知れない。あるいは上記した様に、構成員の意志、希望を知るための参考資料を得るという事かも知れない。しかし、とにかく今回の選挙参加は前回よりさらに公式に近い形での参加であったので記録に残して置きたい。約1ヶ月ほど前にこの選挙についての情報を耳に為た。手続き、投票の仕方を事前に知っておく必要があり、いくらかを予め入手できたが、投票の時期が迫らないと実感は湧かない。当日のその場になって、何をして良いかわからないと言う状態は避けなければならない。まずは候補者が何人で、どの様な経歴、キャリア、バック・グラウンドを有するのか、年齢、容姿なども、写真やポスターで事前に確認しておく必要がある。さらに投票の仕方であるが、候補者の氏名を選挙人が書くのか、あるいは既にそうした候補者の氏名を書いた一覧表が有り、その中から意中の候補者を、あるいは候補者の前に付けられた番号をチェックするのか、なども重要な所である。もし氏名を直接書くのであれば、スペルを間違えないように書かないと無効になるし、余分な文字一字を加えたり、逆に不足していたりすれば同様に無効票になる。その様な事を聞き、おおかたは頭に入れて選挙に臨むことになった。投票所もわからないので、同じ様に投票に出向く知人に同行してもらい、分からないときは直ぐに聞ける様な状態で臨んだ。

投票所は学長室のある建物の前に位置し、早朝の8時30分から投票は始まっていた。すでに受付での本人確認のための登録手続きをするため、身分を証明するID(Identification Card)の表示が必要で、講義担当のために前もって作成して貰ったID(銀行への入金カードで写真付き)を提示して、登録名簿にある筆者の名前と照合し、確認し、本人がその欄に

署名して、本人である確認が済む。そこで投票用紙を貰うが、予め聞いていたように候補者全員の氏名一覧表があり、全てはタイ語で書かれている。番号も同様タイ語である。上から順番に1, 2, 3と言う順番になって居るから、予めポスターの写真で確認した番号と同じ並びになって居るから、その記憶を重ね、意中の候補者の番号にチェックを入れて、投票箱に投票して選挙についての行為は終了した。

上記した別の大学での学部長選挙は教職員の意向投票に近く、投票の結果がそのまま認定される場合もあるがそうでない場合もある。その大学では学部長の任命にも学長の意向が働くなどと聞いたことが有り、学長の意向。影響力はかなり強いと記憶している。本大学ではどうなのかは、ほとんど分からないし、知る必要も無いので関心も少ない。しかし大学レベルでの方向付け、戦略についての議論、基本的方針など意志決定を必要とする場合に異論や反対が多くて、学長の意向が反映されないのはどうか、と言う観点から学長の権限が及ぶ余地が残されている様である。また、これまでも書いたが、特に大学の学長選挙ともなれば、卒業生が優先的に考慮されると言う「伝統(?) 或いは習慣(?)」も根強く残っており、一度選挙で選ばれたがクレームが付いて、裁判沙汰になるとかすると、長期に亘り学長が決まらず、不在で学長代行という対応になる。3年以上も学長代行という例も少なくない。

朝の投票結果は午後遅くアナウンス(Announce)されると聞いていたが、果たしてどの様な結果になるか、あまり関心も無いが大学としての意志の反映を垣間見る機会と言う観点でわずかの関心ありというところか。その日の選挙結果が夜になって判明した。6名中2名が当選と言うことであった。ちなみにこの選挙はユニバシティ・カウンシル (University council) ということで重要な選挙であることを知って驚いた。なぜなら大学レベルの管理委員会であり、重要な事項を審議、決定する機関であるからである。